

北海道文化賞

き ばた
木 幡 サ チ 子

アイヌ文化を継承してきた祖父母と幼少時代を過ごし、日常生活の中でアイヌ語をはじめとする多くのアイヌ文化を背景として育つ。

昭和58年の平取アイヌ文化保存会の結成と同時に会員として活動を開始する傍ら、平取町二風谷アイヌ語教室でアイヌ語を本格的に学び、平成13年に開催された「第16回国民文化祭・ぐんま2001」でカムイユカラを発表するなど、全国各地でアイヌの物語を披露。

アイヌ語弁論大会の審査委員やアイヌ語教室の講師として後進の育成にも尽力し、アイヌ口承文芸の語り部として、アイヌ文化の振興・発展に大きく貢献。

◎受賞者の主な略歴

- S58 平取アイヌ文化保存会の会員として活動開始（～現在）
- H元 シシリムカアイヌ文化祭出演
- H2 平取町二風谷アイヌ語教室の受講生としてアイヌ語を本格的に学び始める
- H10 平取町二風谷アイヌ語教室講師（～現在）
- H13 「第16回国民文化祭・ぐんま2001」にてカムイユカラ（神謡）披露
- H14 アイヌ語弁論大会審査委員（～H16）
- H17 平取アイヌ文化保存会理事（～H26）
- H17 アイヌ文化奨励賞受賞
- H21 平取地域イオル再生事業により建設されたポロチセ管理人（～H25）
トマ（ゴザ）編みの実演や体験学習の講師も務める
- H24 アイヌ文化賞受賞